

科目名	現代文	使用教材	教科書 「高校生の現代文」(明治書院) 副教材 「新成 現代文」(尚文出版)
単位数	2年次：2単位必修 スーパー進学コース(通年)	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 提出物(課題・プリント・ノートなど)

## 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識し、徹底する。
- ◆近代以降の様々な文章に触れる中で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の力を伸ばし、総合的な言語能力を養い、日常用いている言葉に意識を向け、適切な表現を身につける。
- ◆ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を養う。
- ◆問題集の演習を通して基礎から応用まで幅広く対応する力を身につける中で、3年次での進路を見通した学習を計画的に進める能力を養う。

### ★授業について

「現代文」では、1年次での「国語総合」の学習を受け、近代以降のさまざまな文章を学習していきます。様々なジャンルの文章に触れる中で、辞書を活用し、たくさんの語彙を身につけ、「話す」「聞く」「書く」「読む」の広い領域で生かしていくことができる力を高めていきましょう。2年次では文章の趣旨をまとめる「要約」や自分の意見を文章にする練習も多く取り入れていきます。自分で文章を「書く」という作業を通して、使う言葉の意味がより深く理解できるようになります。一つ一つの取り組みを大切にしていくことで、自分の内面も少しずつ磨いていきましょう。

また、教科書の内容に加え、問題集等の入試対策用副教材も使用します。評論文・小説・随筆などの構成を理解し、「要約」する練習も行っていきます。文章の面白さを味わうことと論理的に読み取ることの両立を目指しましょう。

### ★自主学習について

◎予習 次の時間に学習する範囲をしっかりと読んでおきましょう。分かりにくい語句については辞書を活用して意味をまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。

◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

### ★評価について

評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)

と対象 ②授業に対する意欲・姿勢を見ます。(関心・意欲・態度)

③ノート、小テスト、プリントなどの提出状況とその内容を観ます。(思考・判断)

④発表時の態度を見ます。(書く能力)(話す・聞く能力)

### ★進路

大学入試に必要な文章読解力・表現力は一朝一夕につくものではありません。評論文・小説・随筆等に教科書や問題集の中で触れることに加え、自主的な読書によって優れた表現を体感する機会を積極的につくってほしいと思います。また、全国模試も年5回予定されています。自分の実力を客観的に知り、弱い分野を分析し、次に生かすことが大切です。模試直しを徹底する中で、自ら課題を見つけて学び方を考える姿勢を身につけていきましょう。

# 学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 \*心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・「現代文」での学習のねらい、決まりを理解する。	◆学習の終始と決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
	3～	随想「十六歳のとき」	・随想を味わい、筆者独自の見方、感じ方をつかむ。 ・人生についての問題意識を正しくつかむ。	●随想の理解 ●筆者の考えを理解 ◆学習習慣の定着 ◆問題集 *自分の生き方について考える
5	2～	小説「山月記」	・小説についての理解を深め小説の面白さを味わう。 ・主人公の思いを読み取る。 ・作品の虚構性について考える。	●小説とは何か ●主人公の心理描写 ◆問題集 *人間にとって本当に大切なものは何か考える
6	2～	評論「コンコルドの誤り」	・評論の論旨を理解する力をつける。 ・物事の捉え方・考え方を深める態度を身につける。	●文章構成について ●評論文とは ◆問題集 *人間が陥りやすい思考回路に陥らないよう注意する
7				
8				
前期考查				
9	1～	評論「失敗に学ぶ」	・発展的に問題をとらえ自分たちの課題でもあることを理解し、考え、意見できるようにする。	●筆者の意見の理解 ●文章構成の理解 ◆問題集 *自分の失敗をプラスに変えるよう発想の転換をする
10	1～	短歌「春の鳥」他 俳句「たんぽぽ」他	・独特の表現方法に慣れる。 ・鑑賞のしかたを習得する。	●季語や句法、主題の読み取り ◆問題集
11	1～	評論「生きるということ」	・評論文の形式をつかむ ・主張を確実に理解する	●文章構成の理解 ◆問題集 *実際に自分で生きることについて考えてみる
12	1～	小説「こころ」	・作品の時代・場所・登場人物の状況などをつかむ。 ・小説の読解技術を習得する。 ・人物の相互関係をつかむ。	●夏目漱石とその作品について ●登場人物の心情変化 ◆問題集 *真の友情とは何かについて考える
1				
2				
3				
後期末考查				

科目名	国語表現 I	使用教材	教科書 「国語表現 I」(第一学習社) 副教材 「国語表現ワークノート」(第一学習社) 日本語検定委員会編「日本語検定に挑戦」 (東京書籍)
単位数	2年次:2単位必修 ベーシックコース	評価方法	小テスト、定期考査 授業への取り組みの様子 提出物、感想文・レポート 検定

### 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識し、徹底する。
- ◆国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ◆思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
- ◆正しい日本語を習得し日常生活に生かすとともに、3年次での進路を見通した学習を計画的に進める能力を養う。

### ★授業について

「国語表現 I」の授業では、「表現の楽しみ」「表現の基礎」「表現の実践」という単元を通して、自分の思いを相手に伝えていく活動をしていきます。伝えたい思いはあるのにどう表現すればよいか分からない…というもどかしい経験をしたことがある人がいるかもしれません。まずは、ジャンル・形式に捉われない自由な発想による表現活動(手紙、詩など)を通して、表現することに少しずつ親しんでいきましょう。また、3年次での進路を見据え、正しい日本語の習得を目標に、日本語検定も授業の中に取り入れていきます。漢字、敬語、言葉の意味などの総合的な日本語の力を身につけていきましょう。

### 日本語検定(中級・11月)に挑戦!!

### ★自主学習について

- ◎予習 次の時間に学習する範囲をしっかりと読んでおきましょう。分かりにくい語句については辞書を活用して意味をまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。
- ◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

### ★評価について

- 評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)  
と対象 ②授業に対する意欲、姿勢を観ます。(関心・意欲・態度)  
③ノート、小テスト、プリントなどの提出状況とその内容を観ます。(思考・判断)  
④感想文やレポートの内容、発表時の態度などを評価します。(書く能力)(話す・聞く能力)  
⑤日本語検定における学習の成果を評価します。(知識・理解)(関心・意欲・態度)

### ★進路

授業の中に「日本語検定」を取り入れるのは、興譲館高校で初の試みです。正しい言葉を使うことができる人が減っているといわれている今だからこそ、漢字や敬語、語句の意味など総合的な日本語力が価値を持ちます。普段意識せずに使っている言葉に目を向けて相手に適切に想いを届ける表現方法を身につけていきましょう。また、11月の日本語検定の2週間前を検定対策強化週間とし、弱点分野を補強していきますので、毎回集中して授業に取り組んでください。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・「国語表現Ⅰ」での学習のねらいや授業での決まりについて理解する。	◆学習の終始と決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
	3 ～	「表現の楽しみ」 —日本一短い手紙を書こう —絵の情景を詩や文章に表そう	・実用的な手紙の形式をつかむ。 ・相手のことを考え、適切な表現で手紙を書く。 ・イメージを適切に表現する。	*例を参考に、お世話になっている人へ手紙を書き、相手に気持ちを伝えることの意味について考える。 (関) 品格教育揭示「言葉」
5	1 ～	「表現の基礎」 —自己表現、文章の書き方 —分かりやすい表現、表現の工夫	・「自らを表現する能力」がなぜ必要なのかを理解する。 ・分かりやすい文章の構成や書き方を理解する。	●「表現」と「心」との関わりについての自分の意見をまとめる。 ●自分が用いている言葉を見直し、相手に伝わる表現で文章を書く。
5 8	3 ～ 4	「日本語検定入門」 —敬語 —文法 —語彙 —言葉の意味 —表記・漢字 過去問題演習	・日本語の円滑な運用に必要な6領域を理解する。 ・敬語の分類と基本を理解する。 ・文法の基本を理解する。 ・語彙が豊かな言語表現に欠かせないことを理解する。 ・適切な漢字・送り仮名・仮名遣いについて理解する。	●尊敬語・謙譲語・丁寧語 ●動詞・形容詞・形容動詞・接続詞・助動詞・助詞の分類と働き ●語彙のまとめ ●漢字・送りがな・仮名遣い ●注意すべき漢字の読み書き・意味
			7月・前期考査	
9	1・2	前期学習のまとめ		
10 11	3・4 1	日本語検定対策強化週間 日本語検定	・自分の弱点分野を分析し、計画的に学習を進める力を養う。	◆学習進度表や得点表を活用する。
11 12	2 ～ 3	「表現の実践（一）」 通信・案内・伝達 —手紙の心 —手紙を書く —プレゼンテーションの必要性	・手紙の形式についての理解を深める。 ・相手のことを考え、適切な表現で手紙を書く。 ・プレゼンテーションの重要性や効果がどのようなものかを理解する。	●「手紙の心」とはどのようなものかを考え、手紙を書く上での注意点をまとめる。 ◆修学旅行先でお世話になった人へ手紙を書き、相手に気持ちを伝えることの意味について考え、自分の体験をプレゼンする。
1 2	2 ～ 4	「表現の実践（二）」 記録・報告 —記録文 アカテガニの行進 —聞き書きを書く —レポートを書く  後期学習のまとめ	・記録文・報告文の形式をつかむ。 ・聞き書きをする方法やその効果がどのようなものかを理解する。 ・レポートの種類をつかみ、人前で発表するときの注意点を理解する。	●文章を読み、筆者の観察がどのような点で優れているかをまとめる。 ●身近な人から設定されたテーマについての聞き書きを行う。 ①打ち込んでいる仕事について ②珍しい体験や忘れられない思い出について ③戦争体験や戦後の生活について ●構成に注意し、レポートを書く。
3			目標を設定し計画的な学習を行う。	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方、学年の締めくくり方を考える。
			後期考査	

--	--	--	--	--

科目名	<h1>国語総合</h1>	使用教材	教科書 「新精選 国語総合」(明治書院) 副教材 「新訂 国語便覧」(第一学習社)
単位数	2年次：2単位必修 ベーシックコース	評価方法	小テスト、定期考査 授業への取り組みの様子 提出物、感想文・レポート 検定

## 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰（挨拶、姿勢、発声、話し方、視線）を再認識し、徹底する。
- ◆現代文に重点を置き近代以降の様々な文章に触れる中で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の力を伸ばし、総合的な言語能力を養い、日常用いている言葉に意識を向け、適切な表現を身につける。
- ◆1年次での学習を踏まえ、漢字を中心とする日本語の学習に重点を置き基礎学力を高める中で、3年次での進路を見通した学習を計画的に進める能力を養う。

### ★授業について

「国語総合」では、1年次での学習を引き継ぎ、現代文に重点を置いて学習していきます。様々なジャンルの文章に触れる中で、辞書を活用し、たくさんの語彙を身につけ、「話す」「聞く」「書く」「読む」の広い領域で生かしていくことができる力を高めていきましょう。2年次では文章の趣旨をまとめる「要約」や自分の意見を文章にする練習も多く取り入れていきます。自分で文章を「書く」という作業を通して、使う言葉の意味がより深く理解できるようになります。一つ一つの取り組みを大切にしていくことで、自分の内面も少しずつ磨いていきましょう。

また、「漢字力向上」に向け、漢字検定2週間前から対策強化週間とし、基礎力を補強していきます

**目指せ漢検準2級以上取得！！**

### ★自主学習について

◎予習 次の時間に学習する範囲をしっかりと読んでおきましょう。分かりにくい語句については辞書を活用して意味をまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。

◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

### ★評価について

評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)

と対象 ②授業に対する意欲、姿勢を観ます。(関心・意欲・態度)

③ノート、小テスト、プリントなどの提出状況とその内容を観ます。(思考・判断)

④感想文やレポートの内容、発表時の態度などを評価します。(書く能力)(話す・聞く能力)

⑤漢字検定における学習の成果を評価します。(知識・理解)(関心・意欲・態度)

### ★進路

「国語総合」の時間では、就職・進学の際に求められる日本語の力を高めることを目標の一つとして進めていきます。近年の入試では、文章を「読む」力に加え、自分の考えを適切に表現する力が求められています。優れた文章に触れる中で、自身の「書く」力も高めていきましょう。

また、「漢字力向上」をテーマに、毎週校内漢字テストを実施します。毎回真剣に取り組むことで、生活の様々な場面でも集中力が生きてきますよ。満点を目指して努力を重ねていきましょう。

# 学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・「国語総合」での学習のねらいや授業での決まりについて理解する。	◆学習の終始と決まりの徹底 ◆聞き方・話し方の徹底
5	3 ~ 2	評論「物まねが開く世界」	・評論文の形式をつかむ。 ・本文中の語句を的確に読み取る。	●筆者が「外的身体」と「内的身体」をどのようなものと考えているかをまとめる。
5	3・4	「語彙を豊かに」	・語彙を豊かにすることの意義を理解する。 ・語彙を豊かにする方法を知る。	●新聞コラムを活用し、分かりにくい語句を丁寧に調べる中で、要約の練習を行う。
6	1 ~ 3	小説「富岳百景」	・小説の特徴をつかむ。 ・作者独特の表現方法をつかみ、「私」の心情を読み取る。	●5W1Hの読み取り方をつかむ。 ●「私」の種々の富士の姿に対する印象をまとめる。
6 7	4 ~ 1	漢字検定対策強化週間	・自分の弱点分野を分析し、計画的に学習を進める態度を養う。	◆学習進度表や得点表を活用する。
7 8		詩歌「白牡丹」	・作者についての理解を深める。 ・短歌の修辞を理解し、込められた想いを探る。	●定型律の特質を理解し、作者の感動の中心を押さえて作品を味わう。
			・目標を設定し計画的な学習を行う。	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方を考える。
<b>前期考査</b>				
9	1	詩歌を作ろう	・自分の想いを短歌にし、歌作の楽しさを味わう。	●「井原市文学賞」出品作品を作る。 ＊自分の想いを表現する言葉を探す中で、内省する態度を養う。
	2	前期学習のまとめ		
10	3・4	漢字検定対策強化週間	・自分の弱点分野を分析し、計画的に学習を進める態度を養う。	◆学習進度表や得点表を活用する。
11 12	1 ~ 3	表現「プレゼンテーション」	・プレゼンテーションとは何かを理解する。 ・プレゼンテーションの手順を理解し、話し方・聞き方に注意して発表・批評を行う。	●プレゼンテーション実施のための具体的な方法をまとめ、グループに分かれて準備を進める。 ◆修学旅行と関連させ、総合的な学習での学びを発展させる。
1	2 ~ 4	小説「蠅」	・明治・昭和の文学史の概要を理解する。 ・それぞれの章での作者独特の表現の効果を読み取る。	●便覧を活用し文学史をまとめる。 ●それぞれの章での表現効果をまとめ、最終章の馬車が落下していく結末の意味を話し合う。
2	1 ~	「敬語は人間関係の潤滑油」	・敬語の種類を理解し、適切な使い方方を身につける。	●様々な場面で敬語を使う練習をする。(関) 品格教育揭示「言葉」
	3 ~	「意見文を書く」	・意見文の形式、働きについて理解する。	●主張が一貫しているかに注意し、テーマに添った意見文を書く。
3	1	後期学習のまとめ	・目標を設定し計画的な学習を行う。	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方、学年の締めくくり方を考える。
<b>後期考査</b>				

--	--	--	--	--

科目名	<h1>国語総合</h1>	使用教材	教科書 「古典1」(大修館書店) 副教材 「必携 古典文法」(中央図書) 「新訂 国語便覧」(第一学習社) 「センター古文単語 440」(浜島書店)
単位数	2年次:2単位必修 スーパー進学コース	評価方法	小テスト、定期考査 授業への取り組みの様子 提出物、感想文・レポート

## 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識し、徹底する。
- ◆古典としての古文に触れる中で、伝統と文化に対する理解を深め、長い歴史のつながりの中における「現代」に目を向ける。
- ◆現代とは異なる価値観や生活習慣などに触れる中で、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人間・社会・自然などについて考察する態度を養う。
- ◆1年次での学習を踏まえ、古文に重点を置き、様々な文章を通して基本文法を確認し、読解に対する応用力を高める。

## ★授業について

「古典」では、古文に重点を置いて学習していきます。1年次に学習した基本的な内容を踏まえ、2年次では敬語表現が多用されている文章や和歌にも挑戦していきます。敬語の理解は、古文読解の一番の山場でもあります。一つ一つ丁寧に繰り返し学習し、ノートや文法書の使い方を工夫して効率よく整理していきましょう。文法の複雑さなどから古文に苦手意識を持つ人もいますが、授業を通してかな文字の柔らかい文体や流れるようなリズムを感じ、文章の奥にある日本古来のものの見方や考え方にも思いを巡らせていきましょう。私たちの祖先が紡いできた文化に触れ、生きるヒントを見つけることができるのが「古典」の魅力です。

また、1月からは翌年の大学入試センター試験に向けての問題演習を行っていきます。自分の苦手分野を知り、3年次に生かすための有意義な時間にしましょう。

## ★自主学習について

◎予習 次の時間に学習する範囲の本文写し、音読をしておきましょう。分からない単語については辞書を引いてまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。

◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

## ★評価について

- 評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)  
 と対象 ②授業に対する意欲、姿勢を観ます。(関心・意欲・態度)  
 ③ノート、小テスト、プリントなどの提出状況とその内容を観ます。(思考・判断)  
 ④感想文やレポートの内容、発表時の態度などを評価します。(書く能力)(話す・聞く能力)

## ★その他 (大学入試センター試験について)

大学入試センター試験では、国語 200 点満点中、「古文」は 50 点分を占めています。語句の意味や品詞を正確に理解しているかどうか、文脈を的確に読み取ることができているかが見られます。2年次では、1年次に引き続き、『古文単語 440』を使用して単語の小テストを行いますので、文章読解には欠かせない単語力を身に付けていきましょう。国公立2次試験では、読解力に加え、高い文章表現力が求められます。文章をまとめる練習も取り入れていきますので、少しずつ表現方法を身につけていきましょう。年5回予定されている全国模試後も、自己分析や弱点補強をしっかりと行い、データを有効活用して下さい。

# 学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・古文学習のねらいや授業での決まりについて確認する。	◆学習の終始の決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
4	3	文法の復習	・既習の文法事項の理解を深める。	●係り結びの法則 ●用言の活用 ●助詞・助動詞
4 5	4 2	「平家物語」 —祇園精舎 —能登殿最期	・軍記物語の特徴と「平家物語」の歴史的位置を理解する。 ・当時の時代背景をつかみ、登場人物それぞれの心情を把握する。	●国語便覧などを活用して「平家物語」についてまとめる。 ●「平家物語」冒頭を暗誦する。 ●登場人物の言葉の意味を考えまとめる。
5	3	敬語の用法	・古典文法の中での敬語の用法を正しく理解する。	●尊敬語・謙譲語・丁寧語 ●敬意の方向 ●二方面への敬意
5 6	4 2	「伊勢物語」 —初冠 —狩りの使ひ	・歌物語の特徴と「伊勢物語」の歴史的位置を理解する。 ・和歌を通した平安時代の男女の姿を読み取る。	●国語便覧などを活用して「伊勢物語」についてまとめる。 ●和歌を丁寧に読解する中で、男女の心情を考えまとめる。
6	3	「和歌」 —万葉集、古今和歌集 新古今和歌集	・和歌の歴史を理解する。 ・和歌の修辞法を理解する。 ・和歌に詠み込まれた作者の心情を的確に読み取る。	*和歌に詠み込まれた純粋な生活感情をまとめ、現代に通じる人間の機微を感じる中で、時代を経ても変わらない人間の姿を知る。
7			・目標を設定し計画的な学習を行う。 <b>前期考査</b>	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方を考える。
8 9 9		和歌の修辞まとめ  前期学習のまとめ	・和歌の修辞法についての理解を深める。	●掛詞●縁語●枕詞●序詞●見立て ●擬人法●本歌取り●体言止め
10		「枕草子」 —中納言参りたまひて —九月ばかり	・随筆の特徴と「枕草子」の歴史的位置を理解する。 ・平安貴族の生活を理解する。 ・「をかし」の価値観について理解する	●国語便覧などを活用して「枕草子」についてまとめる。 ●敬語・敬意の方向に注意し、本文の会話を丁寧に訳し、話しの面白さがどこにあるのかをまとめる。
11	1	「源氏物語」 —桐壺 桐壺の更衣 光源氏の誕生	・物語文学の特徴と「源氏物語」の歴史的位置を理解する。 ・宮中での人間関係を理解する。 ・「もののあはれ」の価値観について理解する。	●国語便覧などを活用して「源氏物語」についてまとめる。 ●敬語・敬意の方向に注意し、本文を丁寧に訳し、登場人物の関係や心情をつかみまとめる。
12	1	<b>大学入試センター試験演習</b>	・翌年の大学入試センター試験に向け演習を行う中で、自分の苦手分野を知り、3年次に生かしていく態度を養う。	◆学習進度表や得点表を活用する。 ◆目標達成のための学び方について考え、短期・長期の計画を立てる。
3	1	後期学習のまとめ	・目標を設定し計画的な学習を行う。 <b>後期考査</b>	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方、学年の締めくくり方を考える。



科目名	古 典	使用教材	教科書 「古典1」(大修館書店) 副教材 「明説古典文法ノート」(尚文出版)
単位数	2年次：2単位必修 ベーシックコース(通年)	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 提出物(課題・プリント・ノートなど)

### 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識、徹底する。
- ◆古典としての古文と漢文に触れる中で、伝統と文化に対する理解を深め、長い歴史のつながりの中における「現代」に目を向ける。
- ◆現代とは異なる価値観や生活習慣などに触れる中で、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人間・社会・自然などについて考察する態度を養う。
- ◆漢文学習では、中国の思想を学ぶ中で、本校設定科目である『論語』の理解を補強し、自らの生き方・在り方について深く考察する態度を養う。

### ★授業について

「古典」では、古文1単元終了後漢文を1単元と交互に進めていきます。「古典」と聞くと、現代文とは文法も異なり、外国語を読んでいるように感じて苦手意識を持つ人がいるかもしれませんが、私たちの祖先が紡いできた文化に触れ、生きるヒントを見つけることができるのが「古典」の魅力です。文法学習に偏らず、古文漢文のリズムをつかむための音読や、現代とは異なる生活習慣などを視覚からも理解できるよう「国語便覧」を活用した学習も行っていますので、積極的に授業に取り組んでください。文法については、中学校での既習事項も踏まえて一つ一つまとめていきます。ノートの取り方、文法書の使い方などを工夫して効率よく整理していきましょう。また、古典作品を通して感じたこと・考えたことを言葉にする機会も設けていきますので、積極的に自己表現をして、お互いの意見に耳を傾けてほしいと思います。

### ★自主学習について

- ◎予習 次の時間に学習する範囲の本文写し、音読をしておきましょう。分からない単語については辞書を引いてまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。
- ◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかりと行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

### ★評価について

- 評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)
- と対象 ②授業に対する意欲・姿勢を見ます。(関心・意欲・態度)
- ③ノート・小テスト・プリントなどの提出状況とその内容を見ます。(思考・判断)
- ④プリント、課題の内容、発表時の態度を見ます。(書く能力)(話す・聞く能力)

★進路(大学入試センター試験について) 大学入試センター試験では、国語200点満点中、「古典」は100点分を占めています。単語や文法の理解はもちろんですが、文脈に応じた読解ができることが求められます。1年次の内容を踏まえ、一つ一つ復習も行いますので、高い意識・目標を持って授業に取り組んでください。また、模試が年4回予定されています。自分の実力を客観的に知り、弱い分野をしっかりと分析し、次に生かすことが大切です。模試直しを徹底する中で、自ら課題を見つけて学び方を考える姿勢を身につけていきましょう。

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 \*心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・「古典」での学習のねらい、決まりを理解する。	◆学習の終始と決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
	3～	古文入門	・古文を読むための基本文法を身につける。	●歴史的仮名遣い・品詞の識別・用言の活用形・活用の種類 ◆文法ノート
5	3～	説話「検非違使忠明の事」	・説話文学の性格、文学的位置について説明する。 ・基本文法を理解する。	●古文のリズムをつかむ ◆文法ノート
6	2～	漢文入門	・漢文を読むための基本文法を身につける。	●漢文の構造 ●返り点・書き下し文 ◆文法ノート
7 8	1～	中国の思想「過猶不及」「聞斯行諸」	・孔子と門人のやりとりを通して師弟のあり方や孔子の人柄を理解する。	●儒家の思想 ◆文法ノート *『論語』の思想を理解し、自己の考え方を豊かにする。
前期末考査				
9 10	1～ 4	随筆「徒然草」 一丹波に出雲といふ所あり	・随筆の性格、文学的位置を理解する。 ・作者の論の展開法を把握する。	●流れに即して作者の主張を的確に読み取る ◆文法ノート
11	4～ 1	中国の思想「夢為胡蝶」「侵官之害」	・儒家と道家、法家のちがいを理解する。	●道家の思想 ●法家の思想 ◆文法ノート
	2～	日記「土佐日記」 一羽根	・日記文学の性格、文学史的位置を理解する。 ・歌に込められた作者の心情を理解する。	●日記の展開に即して作者の立場を理解 ●歌の内容から心情を理解する ◆文法ノート
12	1～	中国の詩「秋日」「江南春」 他	・情景と歌われている心情について考える。 ・起承転結の展開に当てはめて各句の展開をまとめる。	●五言と七言・絶句と律詩 ●自然描写、心情描写 ◆文法ノート
1 2 3	3	俳諧 松尾芭蕉・与謝蕪村・小林一茶  学習のまとめ	・俳諧の性格、文学的位置を理解する。 ・作者と作品を理解する。	●季語・切れ字 ●内容から心情を理解する ◆文法ノート
後期末考査				

科目名	古 典	使用教材	教科書 「古典1」(大修館書店) 副教材 「新明説漢文」(尚文出版) 「新訂 国語便覧」(第一学習社)
単位数	2年次:2単位必修 スーパー進学コース	評価方法	小テスト、定期考査 授業への取り組みの様子 提出物、感想文・レポート

## 学習到達目標

- ◆基本的な学習の躰(挨拶、姿勢、発声、話し方、視線)を再認識し、徹底する。
- ◆古典としての漢文に触れ、日本と中国との関係について理解し、長い歴史のつながりの中における「現代」に目を向ける。
- ◆現代とは異なる価値観や生活習慣などに触れる中で、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人間・社会・自然などについて考察する態度を養う。
- ◆1年次での学習を踏まえ、漢文に重点を置き、様々な文章を通して基本文法を確認し、読解に対する応用力を高める。

## ★授業について

「古典」では、漢文に重点を置いて学習していきます。1年次に学習した基本的な内容や『論語』の内容を踏まえ、2年次では中国の文章や史話、漢詩にも挑戦します。書き下し文や現代語訳は難しくなりますが、重要句形も一つ一つまとめていきますので、ノートや文法書の使い方を工夫して効率よく整理していきましょう。現代とは異なる価値観、時代の空気を「古典」の中から感じ、その中で中国の壮大な歴史や文化、また日本文化に与えた影響についての理解にも繋げていきましょう。

また、1月からは翌年の大学入試センター試験に向けての問題演習を行っていきます。自分の苦手分野を知り、3年次に生かすための有意義な時間にしましょう。

## ★自主学習について

◎予習 次の時間に学習する範囲の本文写し、音読をしておきましょう。分からない語句については辞書を引いてまとめておきましょう。授業を充実させる自分なりの工夫を考えてみましょう。

◎復習 授業中にまとめたノートや挑戦した問題の見直しをしっかり行いましょう。また、小テスト実施後は、間違ったところをそのままにせず、再度解き直しを行いましょう。

## ★評価について

評価の観点 ①各単元の基本的知識の定着を授業・考査を通じて評価します。(知識・理解)

と対象 ②授業に対する意欲、姿勢を観ます。(関心・意欲・態度)

③ノート、小テスト、プリントなどの提出状況とその内容を観ます。(思考・判断)

④感想文やレポートの内容、発表時の態度などを評価します。(書く能力)(話す・聞く能力)

## ★その他

大学入試センター試験では、国語 200 点満点中、「漢文」は 50 点分を占めています。語句の意味や漢文の句形を正確に理解しているかどうか、文脈を的確に読み取ることができているかが見られます。2年次では、『新明説漢文』を使用して語句の小テストを行いますので、少しずつ基本を徹底していきましょう。国公立2次試験では、読解力に加え、高い文章表現力が求められます。文章をまとめる練習も取り入れていきますので、少しずつ表現方法を身につけていきましょう。年5回予定されている全国模試後も、自己分析や弱点補強をしっかりと行い、データを有効活用していきましょう。

# 学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	2	オリエンテーション	・漢文学習のねらいや授業での決まりについて確認する。	◆学習の終始の決まりの定着 ◆聞き方・話し方の確認
4 5	3 2	漢文句形の学習	・読解に必要な句形を理解する。 ・基本句形を応用問題の中で読み取り、内容を理解する。	●再読文字、否定形、疑問形 反語形、使役形、受身形 比較形、仮定形、限定形 抑揚形、累加形、詠嘆形
5	3 4	「中国の文章」 —桃花源記 —春夜宴桃李園序	・句形の理解を深める。 ・各作品の巧みな表現を読み取る。 ・各作品の中で、作者が主張しようとしていることを読み取る。	●印象に残る表現を抜き出し、どのような効果があるかを話し合う。 ＊作者の意見に対する各自の意見を発表・交換し合う中で、仲間の考えを認め、自身の考え方を深める。
6	1 4	「中国の史話」 —鴻門の会 —項王の最期	・句形の理解を深める。 ・登場人物それぞれの人物像を把握し、態度や感情の動きを読み取る。	●「鴻門の会」での座席の位置を把握し、登場人物それぞれの動きをまとめる。(⇒ワークシート) ●歴史的事実についての理解を深める。
7			・目標を設定し計画的な学習を行う。 <b>前期考査</b>	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方を考える。
8 9	4 1	「中国の詩」 —自然のうた —旅情のうた —憂愁のうた	・漢詩の決まりを理解する。 ・それぞれの作品に描かれた情景や、作品に込められた作者の心情について理解する。	●古体詩と近体詩 ●絶句と律詩 ●押韻 ●それぞれの作品に描かれた自然情景を整理し、心情との関わりをまとめる。
	2	前期学習のまとめ		
10	3	「中国の思想」 —法治の思想 —中国の思想まとめ	・法家の思想から、法と社会との関係を理解する。 ・既習事項を復習し、それぞれの思想の内容や違いを理解する。	●法家の思想 ●「諸子百家」それぞれが唱えた説を国語便覧などを活用してまとめる。(⇒ワークシート)
11	1	「日本の漢詩文〔逸話〕」 —仁斎赤貧 —所争在弓箭 —雲横秦嶺家何在 —日本人と漢詩文	・逸話の特徴について理解する。 ・日本人による漢詩漢文の歴史について理解する。 ・それぞれの逸話から、登場人物の行動の意味や人柄を読み取る。	●登場人物の歴史的な位置をまとめる。 ＊逸話を通して、日本人の祖先が中国から学んだことについて各自の意見を発表・交換し合う中で、自身の考えを深める。
12	1	<b>大学入試センター試験演習</b>	・翌年の大学入試センター試験に向け演習を行う中で、自分の苦手分野を知り、3年次に生かしていく態度を養う。	◆学習進度表や得点表を活用する。 ◆目標達成のための学び方について考え、短期・長期の計画を立てる。
3	1	後期学習のまとめ	・目標を設定し計画的な学習を行う。 <b>後期考査</b>	◆考査に対する姿勢や勉強の仕方、学年の締めくくり方を考える。

